

# Studyaid D.B. information vol.23

## Studyaid D.B. 2004 新機能

長らくお待ちでしたが、2004年度版のStudyaid D.B. が完成いたしました。  
早速、2004年度版新機能の詳細をお知らせいたします。  
今回は問題作成に関係する変更が中心になっています。  
新しくなったStudyaid D.B. もよろしくお願いたします。

### ● レイアウト編集

今までは、問題の中身を変更しようとする、別の画面（問題作成エディタ）が開いていましたが、2004年度版では、レイアウト画面上で文章、数式、図形を入力（変更）できるようになりました。これにより、次のようなメリットが生まれます。

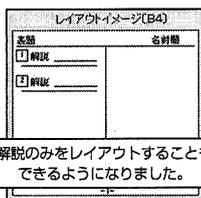
- ① 全体のレイアウトがどう変わるかを確かめながら作業することができる
- ② 1問ごとに別画面に移行しなくてすむため、プリント全体に関わる変更が楽にできる

ただし、問題単位になっているという点には変更がありませんので、全ての問題を一括して編集できるわけではありません。

### ● 問題を左側、解説を右側におく

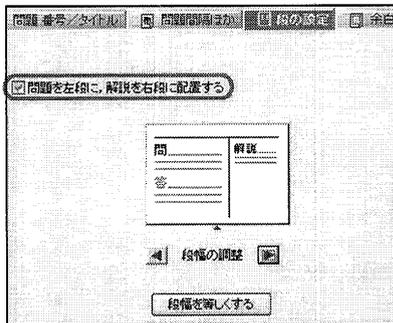
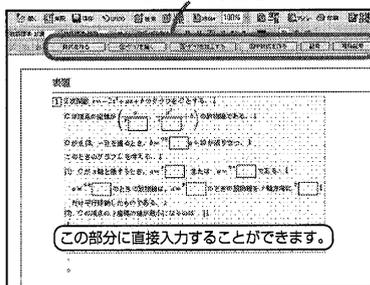
レイアウト内容のうち、解説だけを左右2段組の右側に並べることができます。（右図参照）

[スタイル設定] → [段の設定] タブ  
このとき、問題部分と解説部分は連動していて、左右どちらかが長くても、次の問題の開始位置が自動的に揃うようになっています。  
左右の段組の幅は7段階に調節できます。  
ただし、段幅を変えると自動的に字の大きさが変わります。文字は画面上部から手動で変更できます。



[スタイル設定] → [用紙] タブ → [レイアウト内容]  
 解説 のみにチェックを入れる

入力内容の切り替え



## ● 表題編集

表題部分に複数行の文章を入力することができるようになりました。また、数式や図形の入力も可能になりました。

タイトルだけでなく、提出期限や教科書の関連ページを添える、採点用の枠や検印欄を加える、プリント中で使用する公式をつける、などの利用法が考えられます。

表題部分の幅

数式  $y=x^2-2x+3$

グラフ

複数行の入力が可能です!

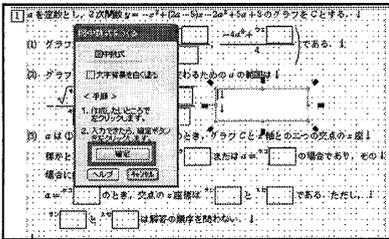
① 数式欄  $y=x^2-2x+3$  を x軸方向に  y軸方向に  だけ平行移動すると、数式欄  $y=x^2+4x+8$  が得られる。

値域 (y)  $-3$  (x)  $2$

表題 表題 表題

色々な方法で表題を飾れます。

## ● 図中数式の入力方法



図中数式の入力方法が変わりました。

図中数式を入力する問題を選択後、画面上部にある

**図中数式を作る** ボタンを左クリックします。

入力を開始したい位置で左クリックすると入力枠が開きます。

入力終了後、確定ボタン（または枠外）を左クリックすると図中数式が確定します。

## ● とじ代・余白の設定

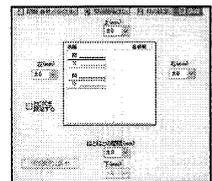
プリントをファイルに綴じやすいように、穴をあけるためのスペースをとることができます。この操作は、プリント全体をずらすだけで、文字の大きさや文字数などは変わりません。また、上下左右の余白が調節できるようになりました。

※ 用紙・段組などの設定によっては、調節できない場合があります。

### スタイルメニュー

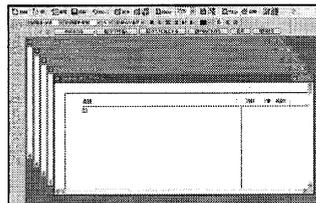


### 余白の調節



## ● 同時に複数の画面を開く

同時に2つ以上の画面を開いて作業することができるようになりました。プリント間で問題のコピーもできます。以前につくったプリントから問題を集めれば、確認プリントや弱点対策プリントなどが簡単に作成できます。



# Studyaid D.B. を使いこなす

Studyaid D.B. はあるけれども使ったことがない。使っているけれども詳しくは知らない。そういう方のために、基本的な操作や便利な使い方などをご紹介します。今回は、レイアウトしたプリントを印刷する方法をご説明します。

## 第5回 プリントを印刷する

レイアウトしたプリントを印刷してみましょう。Studyaid D.B. では状況に応じたいろいろなパターン<sup>①</sup>の印刷ができます。印刷パターンを使い分けるだけでも作業の手間を減らすことが可能です。

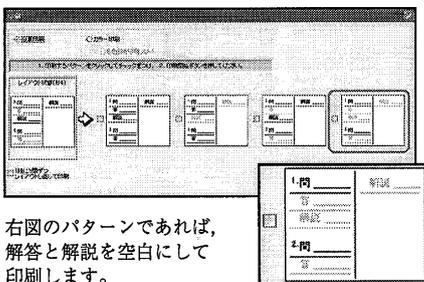
### 印刷のしかた

①画面上部の印刷ボタンを押す



②印刷パターンを選ぶ

解答や解説の有無を選択することができます。下の画面は、問題+答+解説でレイアウトしたときの例です。解説をレイアウトしていなければ、答を印刷するかどうかの選択となります。



右図のパターンであれば、解答と解説を空白にして印刷します。

★「解説なし」の印刷パターンの利用

問題だけをレイアウトすると、解答スペースは間隔変更で調節することになります。予め解説をつけておけば、印刷時に解説を消すことで空いた部分を解答スペースとしてお使いいただけます。

③印刷する

右の画面でOKボタンを押せば、印刷が開始されます。

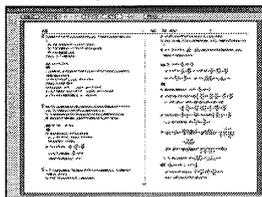


★プレビュー

印刷結果のプレビューもできます。プレビューボタンを押し、②と同様に印刷パターンを決定します。



印刷プレビュー画面



## なるほど Studyaid D.B.

### 【解答の入力方法】

解答を消すことができるのは、あらかじめ収録されているデータだけではありません。

Studyaid D.B. では、ピンク色で入力されたものをすべて解答として認識しますから、印刷時に消した部分は予めピンク色で入力しておけばよいのです。

これを応用すると、同じ内容のプリントでありながら、片方だけにピンクやコメントをつけて印刷することも可能です。習熟度別の授業などにご利用ください。

単に色をつけたいときにはピンク色以外をお使いください。